

花卉のカールがかわいい - アクシバー

本当に小さくあまり目立ちませんが、個性的で、かわいらしいこの花を見つけると感動します。6～7月初旬に開花するツツジ科スノキ属の「アクシバ」です。アクシバ（灰汁柴）という意味深な名前前の由来は2つあるようです。1つは本種を燃やして作った灰を灰汁^あ抜きに利用したという説。もう1つは枝が緑色で弱々しく背丈が低い雑木であることを意味する「青木柴^{てんか}」が転訛したという説。いずれも定かではありません。

葉の脇に薄いピンク色の花が下向きに咲きます。花の長さは1cm弱で8本あるおしべの内4本が外へ突き出ています。花の先端は深く4つに裂け、外側にくるくと巻き込みます。

花の後にできる果実は直径7mm程の球形で水分を含み表面はわずかにでこぼこしています。8～10月に赤く熟した果実を食べるとほんのり甘みと酸味があります。(写真右下：アクシバの果実)

陶史の森にあるアクシバは、自生しているものです。落葉樹の下のやや湿ったところに生え、30cmにも満たない小木のため、花が咲いても見過ごしてしまいそうです。陶史の森で大切にしている花の一つで、この花を見ようと訪れる人もいます。可愛く、可憐なアクシバの花を目的に散策するのも楽しいと思います。



森	の
日	記

衣替えしました!!

4月21日(水)

モコモコの姿がかわいいヒツジは、毛を刈らずそのままにしておくと、夏には熱射病になってしまうようです。

コロナ禍のため非公開でしたが、陶史の森の7頭のヒツジたちの毛刈りを行いました。



夏に向けた衣替えを済ませたヒツジたち。春の光を浴びて気持ちよさそうに駆け回っていました。

教室のご案内

6月

- ミツバチ教室 (要申込 20家族)
6月20日(日) 午前9時～11時
ミツバチの蜂蜜搾りを見学し、体験します。
ウッディードーム内で行います。
- バードウォッチング (要申込 10人)
6月27日(日) 午前9時～11時
梅雨期の野鳥を観察します。雨天中止

7月

- 草花のしおり作り教室 (要申込 10人)
7月11日(日) 午前9時～11時30分
植物を観察・採集し、ネイチャーセンターで標本を作ります。
 - バードウォッチング (要申込 10人)
7月25日(日) 午前9時～11時
夏の野鳥を観察します。雨天中止
- ※新型コロナウイルスの感染状況により中止になる場合があります。